



認知症の方との コミュニケーションについて

令和元年11月9日(土)、もの忘れフォーラムin北通りで、認知症の方とのコミュニケーションについて発表する機会をいただきました。今回はその内容を簡単にご紹介したいと思います。高齢化の進行に伴って、認知症の方の割合も年々増えてきています。認知症の方と日常的に顔を合わせる機会が増える一方で、認知症という病気についての知識に触れる機会はまだまだ十分とは言えず、「どう接したらいいかわからない」と思われている方も多いのではないのでしょうか？

認知症の方とコミュニケーションをとる際に一番大事なことは、相手がどのような世界で生きているかを理解することだと思っています。認知症の方の世界を説明するとき、「目の前に手の筒を作って、耳栓をして、毛糸の手袋をはいて、頻繁に記憶喪失になる状態です。」と私は説明しています。高齢になると、見える範囲、聞こえる範囲、皮膚の感覚などが低下していきます。その上で、記憶が飛び飛びになり、記憶がない間は自分がなにをしたか全く理解できない状態になります。私もお酒で記憶をなくした経験がありますが、記憶がないことに気づいたとき、飲み会のお金を払っただろうか？失礼なことをしてないだろうか？と、不安になります。認知症の方は、記憶を失ったという自覚はありませんが、自分の認識する記憶の前後が合わないことや、

記憶を失っている際の感情は残っているので、不安な気持ちを抱えやすいことが知られています。

そのような認知症の方とコミュニケーションをとるとき、常に相手は不安の中にと考え、安心させるように振る舞うのがコツです。

見える範囲、聞こえる範囲、皮膚の感覚が低下していることに配慮して、

- 相手としっかり視線を合わせ。
- ゆっくり、はっきりした声で、言葉の始まりに力を入れて話す。
- 相手に触れる前に声かけをして、突然掴んだりしないようにする。
- 認知症の方の言動を否定しない言葉づかいをする。

などの方法が一般的です。

今回紹介した方法をうまく日常に取り入れて、認知症の方との良好なコミュニケーションの一助にしてください。



創業70年の信頼と実績



告知/見守端末・観光WiFi・各種ネットワーク関連など
ICTの価値あるソリューションをワンストップでご提供



扶桑電通株式会社 青森営業所

〒030-0861 青森県青森市長島2-13-1 (AQUA青森スクエアビル2F)

Tel 017-775-2031 Fax 017-774-4720

URL:<http://www.fusodentsu.co.jp> ※